

2025 年 11 月 20 日

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）の検出について（第 1 報）

当院において、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）※¹が検出される患者さんが、通常より多く認められていることをご報告致します。

CRE 感染症については、感染症法に基づく発生動向調査として国への報告を行っているところですが、2024 年度の届け出数に増加が認められたことから、山城北保健所同行のもと、国立感染症研究所に調査および支援をいただきながら、感染防止対策の改善に向けた取り組みを行っているところです。

患者さんをはじめ当院をご利用される皆さま、関係者の皆さまには、ご心配とご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

なお、今後の経過につきましては、当院ホームページにおいて随時報告してまいります。

※ 1 CRE につきましては下記囲み枠もご参照ください。

○カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）

- ・ 抗菌薬が効きにくい細菌（薬剤耐性菌）の一種。カルバペネム系抗菌薬に耐性を示します。このうち、カルバペネムを分解する酵素（カルバペネマーゼ）を産生する腸内細菌目細菌をカルバペネマーゼ産生腸内細菌目細菌（CPE）といいます。今回は この CPE を対象としています。
- ・ 腸内細菌目細菌は、大腸菌などと同じく腸内等に保菌されている状態では病気の原因にならず治療は必要ありません。膀胱や腎臓、胆のうなどでは病気を引き起こすことがあります。
- ・ CRE が原因となって感染症を発症した場合は、有効な抗菌薬が限られるので治療が難しくなる可能性があります。

2025 年 11 月 20 日

医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院
病院長